



## 循環器内科からのメッセージ

皆さんの熱い志で循環器疾患に挑もう！

循環器疾患は癌と並ぶ大きな死亡原因の一つです。しかし循環器疾患と言ってもその守備範囲は広く、大まかに分類しても虚血性心疾患、不整脈、心不全などがあります。そしてそれぞれの分野には数々の細かい分類の疾患や病態が内在します。このような幅広い循環器疾患の病態を理解して治療するには様々な角度から挑む必要があります。臨床医学のみならず基礎医学も当然必要です。そして何より‘自らで考える’という姿勢を養うことが大事です。

優れた循環器内科医になるには‘時間軸’を常に意識することです。時に緊急対応を要するのが当科の特徴です。致死的不整脈、急性冠症候群、急性心不全の治療は‘待たなし’です。

一方で、慢性疾患では‘落ち着いた、きめ細やかな診療’が求められます。病魔を敵に例えるとまさに風林火山の精神とも言えるでしょう(疾きこと風の如く、徐かなること木の如く、侵掠すること火の如く、動かざること山の如し)。

皆様の熱い志を循環器内科に投入しては如何でしょうか。患者さんの元気になった笑顔とともに皆さんの充実した姿が見えるようです。

循環器内科 診療部長 吉村 道博